



交付運用報告書

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30
 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50
 ハッピーエイジング60

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2023年7月19日～2024年7月16日

第24期 決算日：2024年7月16日



受益者の
みなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本及び世界各国の株式や公社債を実質的な主要投資対象とし、中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第24期末 2024.7.16

	ハッピーエイジング20	ハッピーエイジング30	ハッピーエイジング40	ハッピーエイジング50	ハッピーエイジング60
基準価額	29,576円	26,358円	21,676円	17,340円	13,584円
純資産総額	29,019百万円	28,106百万円	30,041百万円	11,996百万円	5,666百万円
騰落率*	32.4%	26.6%	17.0%	8.5%	2.3%
期中分配金合計	0円	0円	0円	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング20

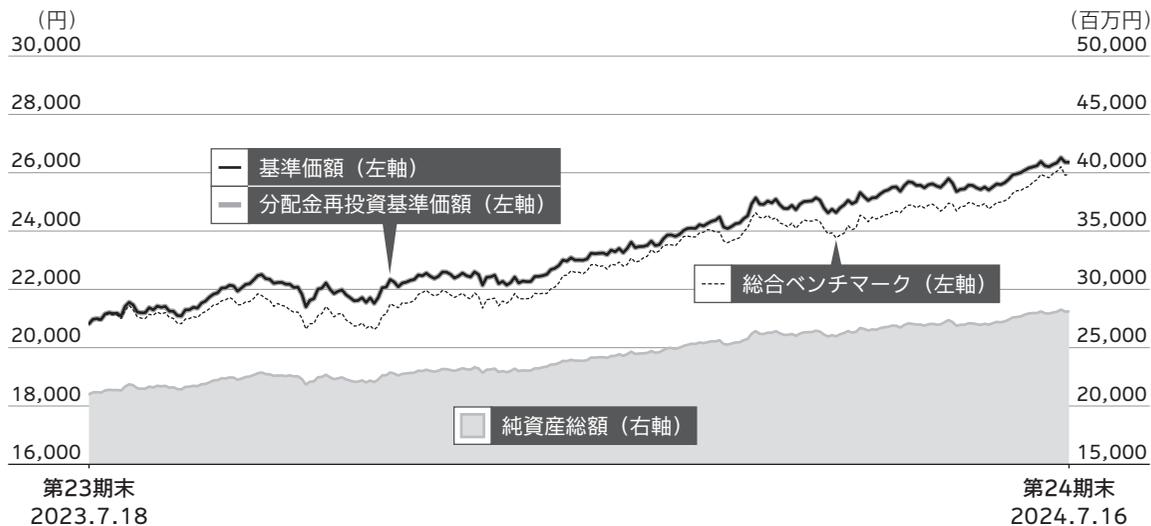
当期間、投資対象である「損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド」や「S J A M ラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング30



基準価額の推移

第24期首
基準価額
20,822円

騰落率
26.6%
(分配金再投資)
基準価額ベース

第24期末
基準価額
26,358円
(期中分配金)
合計0円

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング30

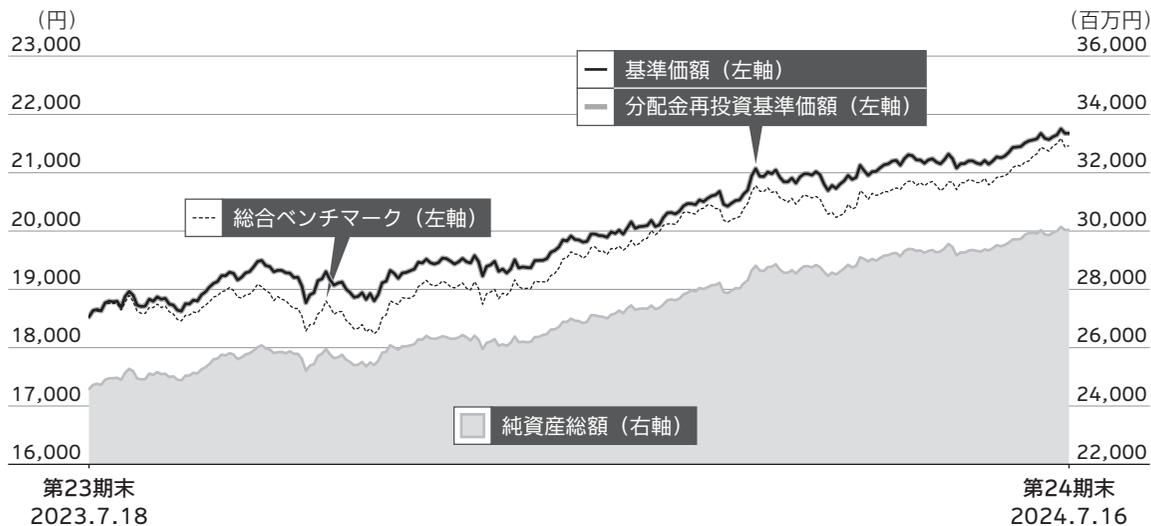
当期間、投資対象である「損保ジャパン T C W外国株式マザーファンド」や「S J A M ラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング40



第24期首

基準価額

18,528円

騰落率

17.0%

(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第24期末

基準価額

21,676円

(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング40

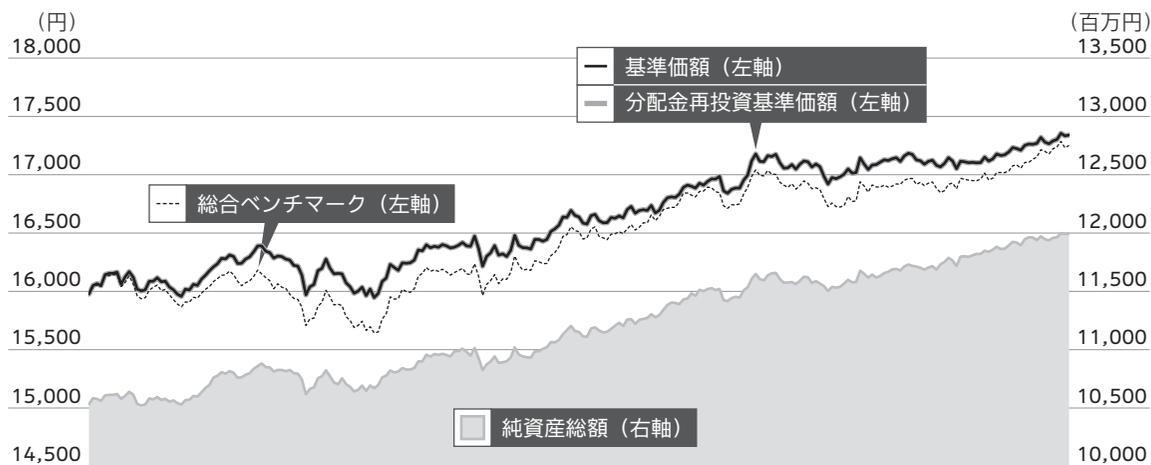
当期間、投資対象である「損保ジャパン T C W外国株式マザーファンド」や「S J A M ラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング50



第23期末
2023.7.18

第24期末
2024.7.16

第24期首

騰落率

第24期末

基準価額
15,977円

8.5%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
17,340円
(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング50

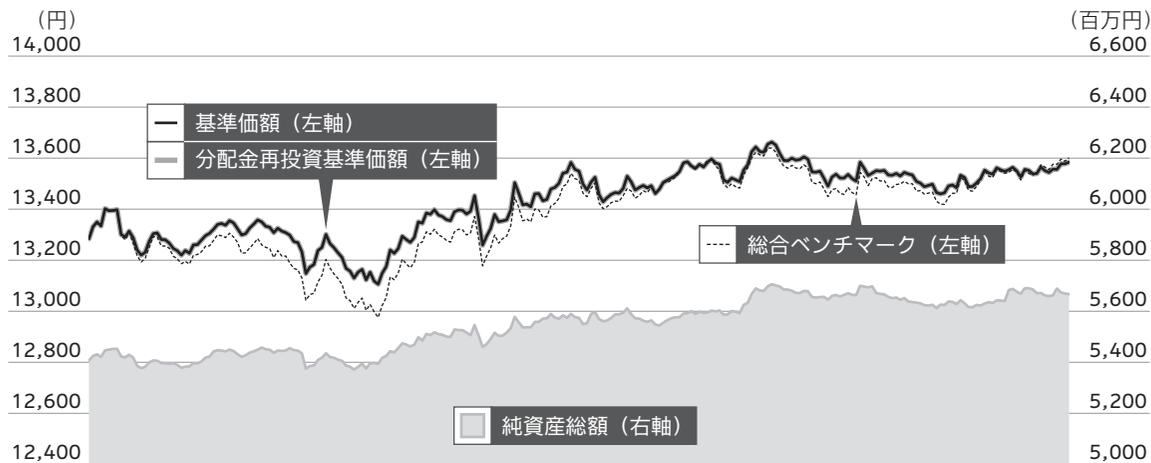
当期間、投資対象である「損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド」や「SJAMラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「SJAMスモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング60



第23期末
2023.7.18

第24期末
2024.7.16

第24期首

騰落率

第24期末

基準価額
13,284円

2.3%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
13,584円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング60

当期間、投資対象である「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」や「S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド」、「S J AMスモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

騰落率は+35.2%となりました。

国内株式市場が上昇する中、期を通じて株式を高位に組入れていたマザーファンドの基準価額も上昇しました。

個別銘柄では、三井住友フィナンシャルグループ、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱地所、アイシン、大阪瓦斯などの保有銘柄が上昇したことが、基準価額の上昇に寄与しました。

S J AMスモールキャップ・マザーファンド

騰落率は+40.3%となりました。

国内株式市場が上昇する中、期を通じて株式を高位に組入れていたマザーファンドの基準価額も上昇しました。

個別銘柄では、めぶきフィナンシャルグループ、いよぎんホールディングス、群馬銀行、サワイグループホールディングス、日本テレビホールディングスなどの保有銘柄が上昇したことで基準価額は上昇しました。

 損保ジャパン日本債券マザーファンド

期中の騰落率は-3.4%となりました。短期ゾーンから超長期ゾーンまで幅広い年限で利回りが上昇（価格は下落）したことから、基準価額は下落しました。

 損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+38.6%となりました。

保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。また、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

 損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

期中の騰落率は+15.7%となりました。

米国債券などの利回りが上昇したことはマイナスに働きましたが、円に対してドルやユーロなど主要通貨が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

📁 ハッピーエイジング20

項目	第24期 2023.7.19~2024.7.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	414円	1.608%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は25,751円です。
(投信会社)	(166)	(0.645)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(234)	(0.908)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(14)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.063	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(16)	(0.061)	
(投資信託証券)	(1)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	1	0.002	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.002)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	6	0.022	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(4)	(0.016)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	437	1.695	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

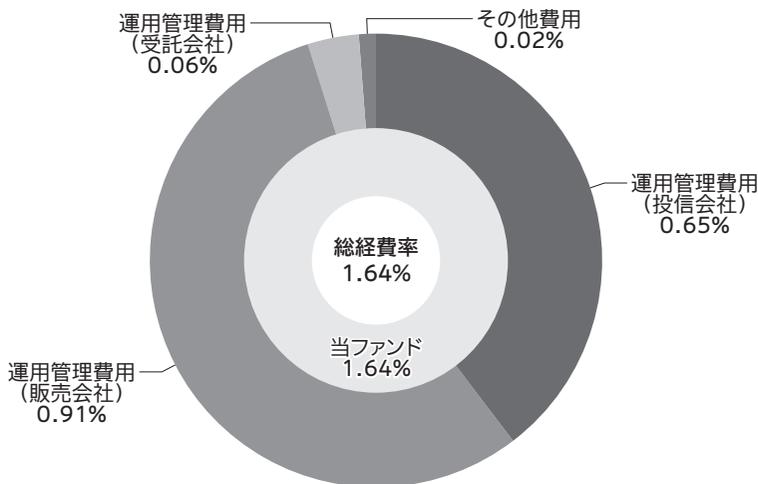
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.64%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



ハッピーエイジング30

項目	第24期 2023.7.19~2024.7.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	347円	1.477%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は23,464円です。
(投信会社)	(136)	(0.580)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(198)	(0.842)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(13)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	12	0.051	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(11)	(0.049)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.020	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(3)	(0.014)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	364	1.549	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

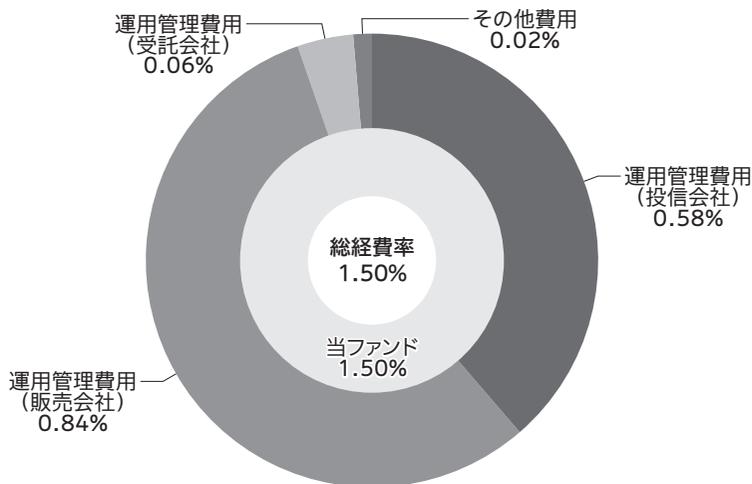
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.50%**です。



1万口当たりの費用明細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



ハッピーエイジング40

項目	第24期 2023.7.19~2024.7.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	263円	1.313%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は20,036円です。
(投信会社)	(103)	(0.514)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(149)	(0.744)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(11)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.035	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(7)	(0.034)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.016	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.010)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	273	1.365	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

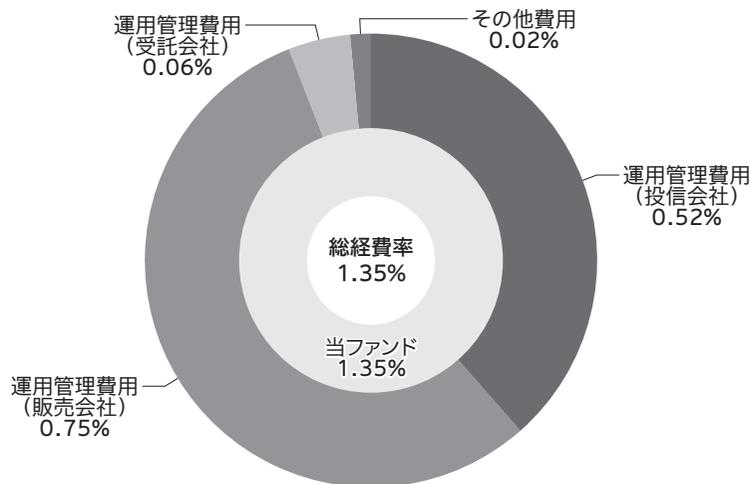
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.35%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



ハッピーエイジング50

項目	第24期 2023.7.19~2024.7.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	187円	1.127%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は16,630円です。
(投信会社)	(75)	(0.449)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(104)	(0.624)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(9)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.021	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.021)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.017	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.007)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	193	1.166	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

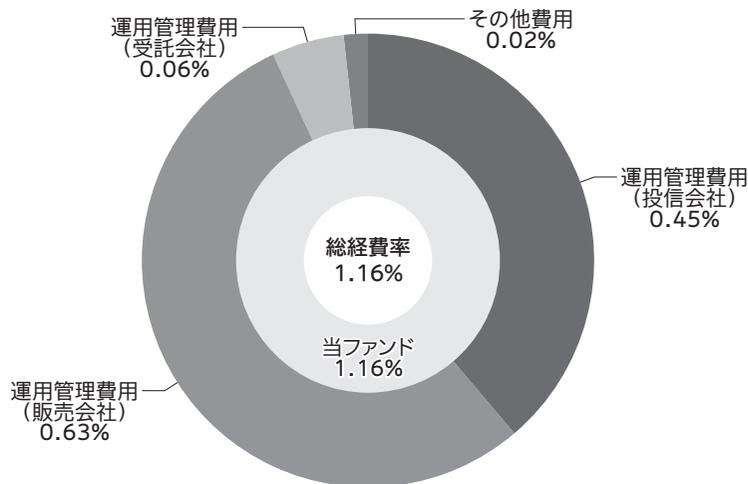
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.16%**です。



1
万口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



ハッピーエイジング60

項目	第24期 2023.7.19~2024.7.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	126円	0.941%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,424円です。
(投信会社)	(51)	(0.383)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(68)	(0.503)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.008)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.020	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.005)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.014)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	130	0.969	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

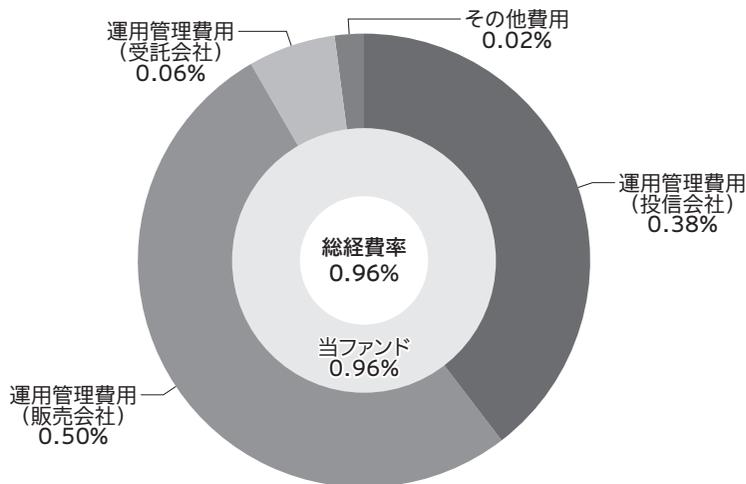
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



1
万口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

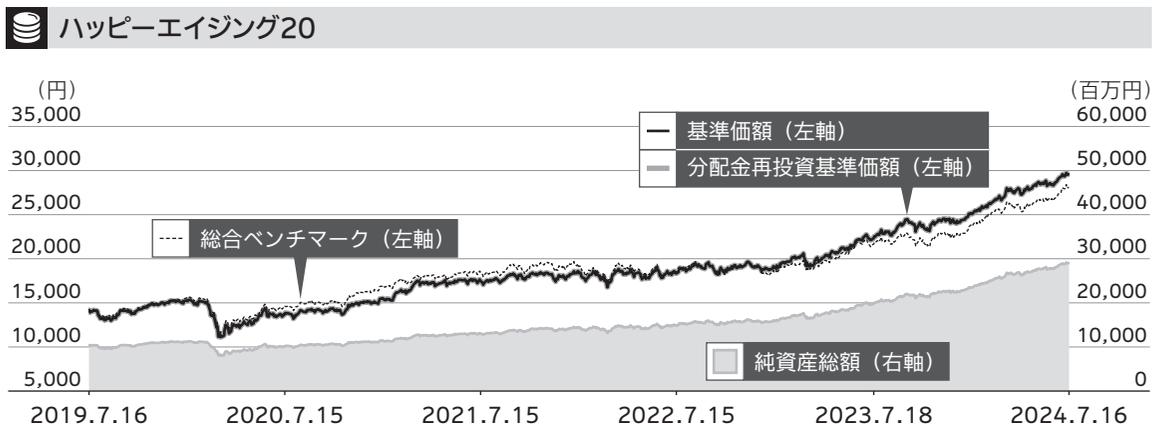
注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2019.7.16～2024.7.16



- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

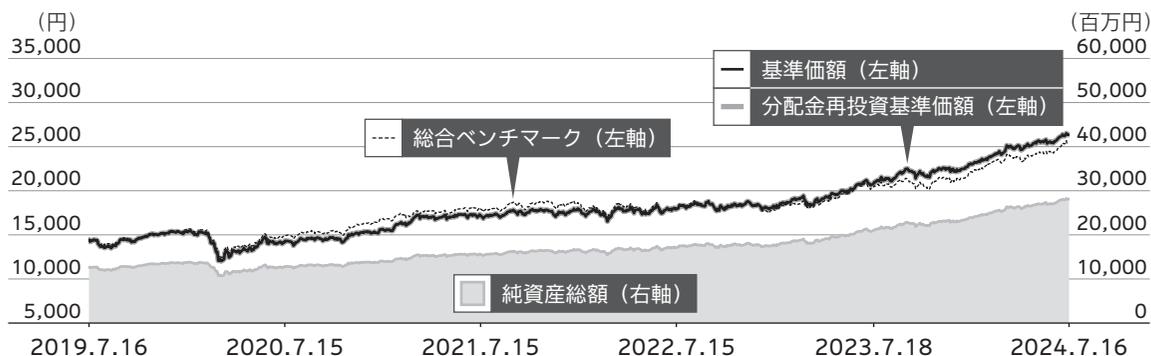
決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日	2024.7.16 決算日
基準価額 (円)	14,179	13,797	17,449	18,338	22,346	29,576
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資	—	△ 2.7	26.5	5.1	21.9	32.4
基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.7	26.5	5.1	21.9	32.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	3.0	26.0	0.5	17.1	29.6
純資産総額 (百万円)	10,453	10,189	13,007	14,848	19,858	29,019

- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。

最近5年間の基準価額等の推移

2019.7.16~2024.7.16


ハッピーエイジング30


- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日	2024.7.16 決算日
基準価額 (円)	14,446	14,293	17,142	17,915	20,822	26,358
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資	—	△ 1.1	19.9	4.5	16.2	26.6
基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.1	19.9	4.5	16.2	26.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	3.6	19.8	0.7	13.1	24.6
純資産総額 (百万円)	12,699	12,817	15,539	17,096	21,009	28,106

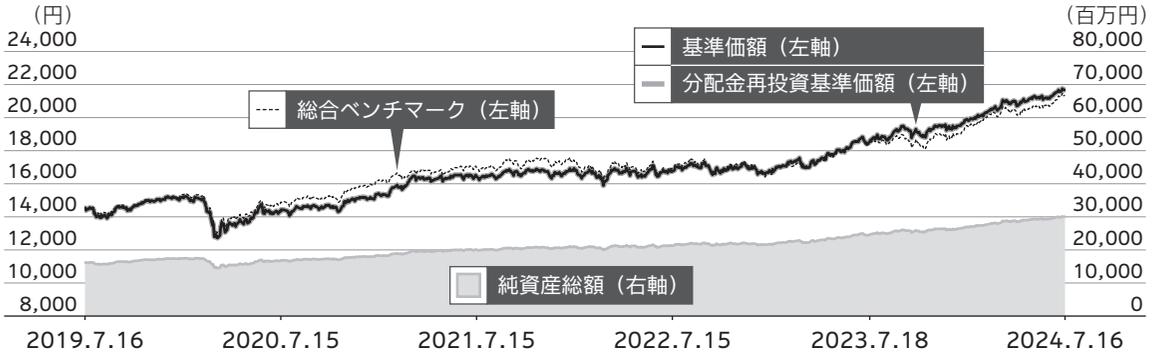
- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。

2019.7.16～2024.7.16



ハッピーエイジング40



- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日	2024.7.16 決算日
基準価額 (円)	14,537	14,410	16,425	16,752	18,528	21,676
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資	—	△ 0.9	14.0	2.0	10.6	17.0
基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.9	14.0	2.0	10.6	17.0
ベンチマーク騰落率 (%)	—	2.4	13.9	△ 0.2	8.8	15.9
純資産総額 (百万円)	16,189	16,815	19,994	21,277	24,582	30,041

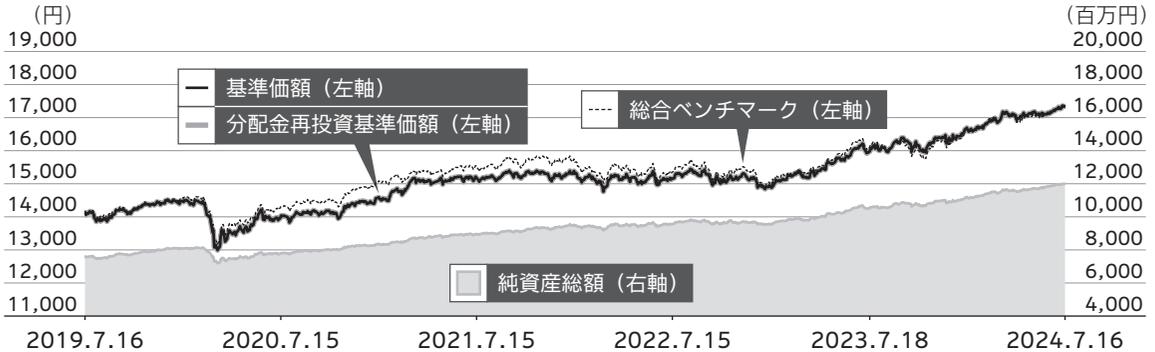
- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。▶

最近5年間の基準価額等の推移

2019.7.16～2024.7.16

 **ハッピーエイジング50**



- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

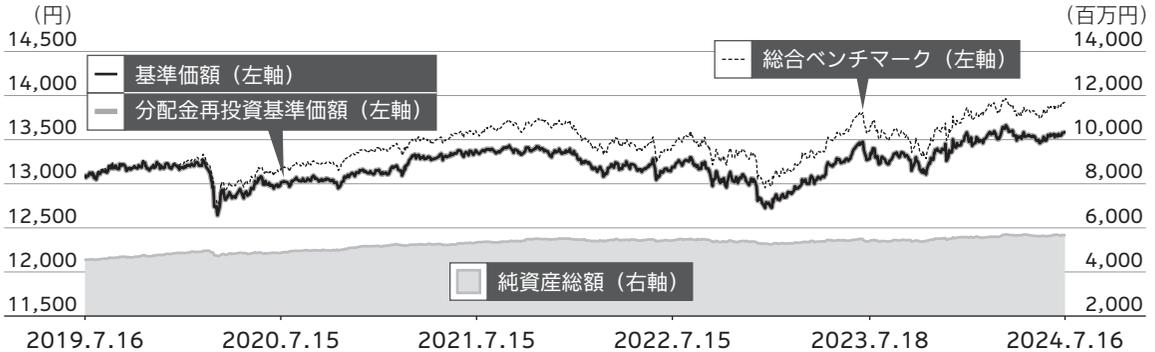
決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日	2024.7.16 決算日
基準価額 (円)	14,137	14,019	15,168	15,150	15,977	17,340
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資	—	△ 0.8	8.2	△ 0.1	5.5	8.5
基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.8	8.2	△ 0.1	5.5	8.5
ベンチマーク騰落率 (%)	—	1.2	8.2	△ 0.9	4.8	8.0
純資産総額 (百万円)	7,592	7,791	8,938	9,555	10,534	11,996

- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。▶

最近5年間の基準価額等の推移

2019.7.16～2024.7.16


ハッピーエイジング60


- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2019年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日		2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日	2024.7.16 決算日
基準価額	(円)	13,089	13,009	13,367	13,192	13,284	13,584
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資		—	△ 0.6	2.8	△ 1.3	0.7	2.3
基準価額騰落率	(%)	—	△ 0.6	2.8	△ 1.3	0.7	2.3
ベンチマーク騰落率	(%)	—	0.6	3.1	△ 1.0	1.2	2.4
純資産総額	(百万円)	4,551	4,870	5,345	5,430	5,407	5,666

- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は**66ページ**をご参照ください。▶

● 投資環境

1. 国内株式市況

TOPIXは29.0%の上昇となりました。

期初は、FRB（米連邦準備理事会）の引き締め的な金融政策の長期化懸念や中東の地政学リスクの高まりなどから上値が重くなったものの、国内企業業績の改善や円安の進行などから底堅く推移しました。

その後は堅調な企業業績、円安ドル高の進行、ガバナンスや資本効率改善期待などを背景に海外からの資金流入が加速し、また日銀がマイナス金利政策の解除に踏み切り、デフレ脱却期待が高まったことなどから大幅上昇となりました。

期末にかけても、米国のインフレ率鈍化を背景とした利下げ期待や積極的な株主還元などの動きが下支え要因となり、堅調な推移が続きました。

2. 国内債券市況

国内債券利回りは上昇しました。

円安が進行するなか、日銀が金融政策の正常化を進めるとの思惑が高まり、国内債券利回りは上昇しました。日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の撤廃やマイナス金利政策の解除などの金融政策正常化政策を行ったことから、幅広い年限で利回りが上昇しました。国債買入れ額の減額観測が高まったことにより、特に超長期ゾーンで利回りが上昇しました。

事業債のスプレッドは、日銀による金融政策正常化が想定よりも慎重なペースで行われるとの見方のもと、市場のリスク選好姿勢が継続したことから、前期末から縮小しました。

3. 外国株式市況

○米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。

期首から2023年10月末にかけては、債務上限問題を背景とした大手格付機関による米国債の格下げや、底堅い米国景気による金融引き締め長期化懸念の高まり、原油価格の上昇、議会での予算案の対立による政府機関閉鎖リスクの高まり、中東情勢の緊迫化などが重石となり、下落しました。その後は、金融緩和期待や大手半導体関連企業の好決算などから、大幅に上昇しました。2024年4月には、粘着的な物価動向などを背景に早期利下げ観測が急速に後退したことや、中東情勢の急激な緊張の高まりなどから下落する局面があったものの、5月以降は、マクロ指標の軟化により金融政策の早期転換が意識されたことなどから、期末にかけて再び上昇しました。

○欧州株式市場

欧州株式市場は上昇しました。

期首から2023年10月末にかけては、中国の景気後退懸念や米国債の格下げ、欧米の中央銀行の利上げ懸念、原油高に伴うインフレの高止まり懸念などを背景に、下落しました。その後は、2024年1月中旬にECB（欧州中央銀行）高官による早期の利下げけん制発言などから一時的に下落したものの、企業の好決算や、堅調な米国株式市場などを背景に3月末にかけて上昇しました。4月には、米国の強い経済指標や中東情勢の緊迫化が重石となり、下落しました。期末にかけては、5月上旬に好決算銘柄を中心に買われ上昇したものの、フランス国民議会の解散総選挙による政情不安などから下落基調で推移しました。

○アジア株式市場

アジア株式市場は下落しました。

期首は、中国で弱い経済指標が相次いだことなどを背景に政策期待が高まったことなどから、上昇して始まったものの、2024年1月下旬にかけて、中国の景気後退懸念や不動産信用問題、中東情勢不安などによりリスク回避の動きが強まったため、下落基調で推移しました。5月中旬にかけては、中国政府が複数の景気安定政策を打ち出し、過度な不安が後退したほか、世界的なハイテク株の上昇で市場心理が回復したことなどから上昇し、期首からの下落幅を一部取り戻しました。しかし、

期末にかけては、米国のハイテク株の調整に加え、中国の個人消費の減速懸念などから軟調に推移しました。

4. 外国債券市況

○米国債券市場

当期の米国10年債利回りは、上昇しました。

堅調な経済指標や根強いインフレを背景にFRBの高金利長期化観測が続いたことなどから、利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

当期のドイツ10年債利回りは、概ね横ばいとなりました。

米国債券の利回り上昇がドイツ債券の利回り上昇圧力となった一方、ユーロ圏のインフレが低下基調のなか、ECBが2024年6月に利下げ開始を決定したことなどから、ドイツ10年債利回りは、概ね横ばいとなりました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、大幅な円安ドル高となりました。

米ドル円相場は、FRBの高金利長期化観測がドル高圧力となるなか、日銀が金融政策正常化後も金融引き締めを急がない姿勢を示したことなどから、大幅な円安ドル高となりました。

5. エマージング株式市況

当期のエマージング株式市場は上昇しました。

期の前半は中国の大手不動産開発企業に対する信用不安や中東情勢の悪化により市場は下落しましたが、2023年秋頃から米国での利下げ期待が徐々に高まり、投資家のリスク許容度が改善したことでエマージング株式市場も反発しました。

2024年に入り、中国では不動産市場の低迷を起点とした経済指標の鈍化により株価の上値が重い展開が続く一方、生成AIの普及加速の期待を受けて台湾や韓国の半導体関連銘柄が牽引する形で相場は大きく上昇しました。期末にかけては、中国軍による台湾周辺での軍事演習やインド総選挙の結果を巡って株価が一時下落する場面も見られましたが、期を通じては、株価は上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

ハッピーエイジング・ファンド

各ファンドの資産アロケーションについては、当社が決定した基準資産配分比率を、各々ほぼ維持する戦略を採りました。

ハッピーエイジング20実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	2.0%	2.0%	△0.0%
外国債券	5.9%	6.0%	△0.1%
国内株式	52.2%	52.0%	0.2%
外国株式	32.8%	33.0%	△0.2%
エマージング株式	4.7%	5.0%	△0.3%
短期資産	2.4%	2.0%	0.4%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング30実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	7.9%	8.0%	△0.1%
外国債券	19.7%	20.0%	△0.3%
国内株式	44.4%	44.0%	0.4%
外国株式	20.9%	21.0%	△0.1%
エマージング株式	5.1%	5.0%	0.1%
短期資産	2.0%	2.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング40実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	32.7%	33.0%	△0.3%
外国債券	14.9%	15.0%	△0.1%
国内株式	31.5%	31.0%	0.5%
外国株式	14.0%	14.0%	0.0%
エマージング株式	5.1%	5.0%	0.1%
短期資産	1.8%	2.0%	△0.2%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング50実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	56.6%	57.0%	△0.4%
外国債券	11.0%	11.0%	△0.0%
国内株式	19.3%	19.0%	0.3%
外国株式	8.1%	8.0%	0.1%
エマージング株式	3.4%	3.0%	0.4%
短期資産	1.7%	2.0%	△0.3%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング60実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	72.2%	72.0%	0.2%
外国債券	16.1%	16.0%	0.1%
国内株式	8.2%	8.0%	0.2%
外国株式	2.0%	2.0%	0.0%
エマージング株式	0.0%	0.0%	0.0%
短期資産	1.5%	2.0%	△0.5%
合計	100.0%	100.0%	-

S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.4%です。

当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき、銘柄入替を行いました。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、日本電信電話、NIPPON EXPRESSホールディングス、太陽誘電などでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、アイシン、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループなどでした。

S J A M スモールキャップ・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.9%です。

当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき、銘柄入替を行いました。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、セリア、テレビ朝日ホールディングス、日本新薬などでした。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、めぶきフィナンシャルグループ、八十二銀行、日本テレビホールディングスなどでした。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略は、国債利回りが上昇基調で推移した2023年10月までは、主にショートデュレーション戦略をとりました。国債利回りの上昇が一服した12月以降は、主にロングデュレーション戦略をとり、再び国債利回りが上昇基調となった2024年5月以降は、ショートデュレーション戦略をとりました。また、デュレーション幅は、ニュートラルも含め機動的に変更しました。

加えて、イールドカーブ上の相対的に割安な年限をオーバーウェイトするレラティブ・バリュー戦略もとりました。

債券種別戦略は、非国債のオーバーウェイト幅を拡大しました。

個別銘柄選択は、相対的に利回りの高い劣後債や円建外債のほか、高格付け事業債など幅広く購入し、同等年限の国債と入れ替えを行いました。

損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド

期を通して、株式の組入比率を高位に維持しました。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

期を通して、債券の組入比率は概ね高位に維持しました。

・国別配分戦略

ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更しました。

・デュレーション・残存期間構成戦略

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、機動的にポジションを変更しました。

なお、為替ヘッジは行っておりません。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

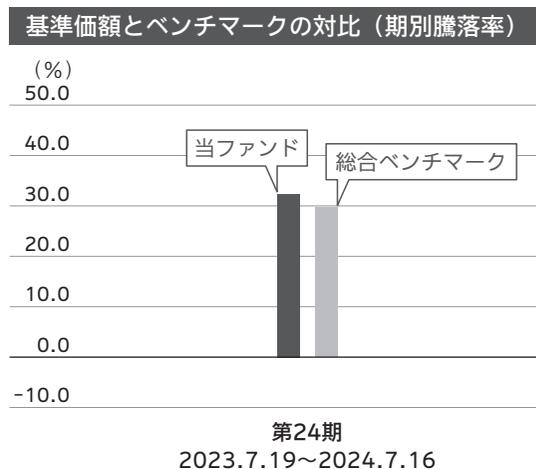
当期間、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」、「S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」、「損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド」、「エマージング株式」の騰落率はベンチマーク（日本株式はTOPIX）を上回り、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」の騰落率はベンチマークを下回りました。

その結果、各ファンドにおける総合ベンチマークとの差異及び差異要因は以下の通りとなりました。

☺ ハッピーエイジング20

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+29.6%）を2.7%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

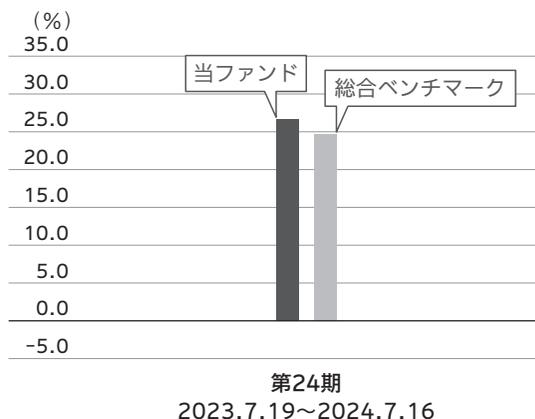


📊 ハッピーエイジング30

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+24.6%）を2.0%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

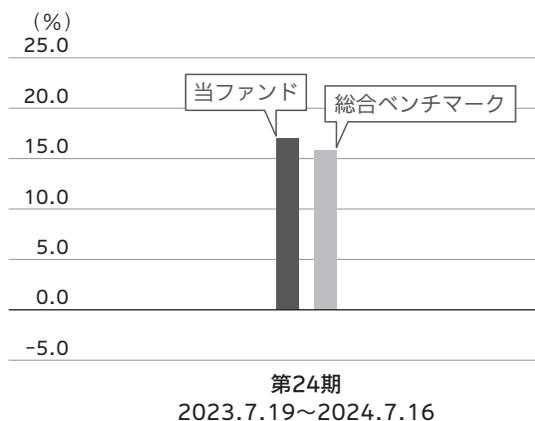


📊 ハッピーエイジング40

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+15.9%）を1.1%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

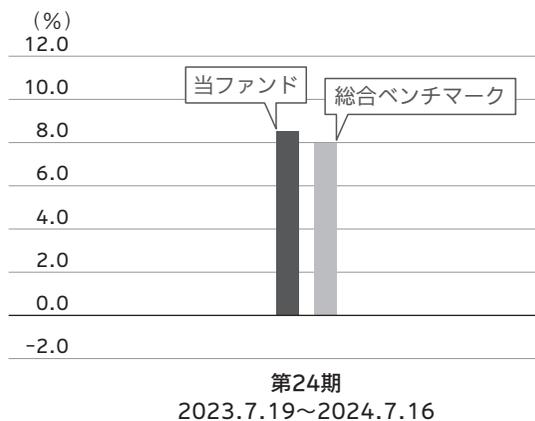


📊 ハッピーエイジング50

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+8.0%）を0.6%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

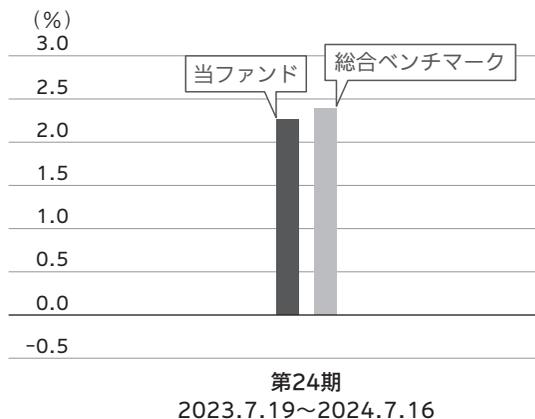


📊 ハッピーエイジング60

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+2.4%）を0.1%下回りました。

個別資産要因がプラスに寄与しましたが、信託報酬がマイナス要因となり、総合ベンチマークを下回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



期を通じて各マザーファンドを組入れておりましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析等についてご説明致します。

SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（+42.6%）を7.4%下回りました。業種配分効果では銀行業のオーバーウェイト、輸送用機器や電気機器のアンダーウェイトなどがプラス要因、繊維製品や食料品のオーバーウェイト、保険業のアンダーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、太陽誘電や三井住友フィナンシャルグループ、大林組のオーバーウェイトなどがプラス要因、ヤマトホールディングス、日揮ホールディングス、日本精工のオーバーウェイトなどがマイナス要因になりました。

SJAMスモールキャップ・マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（+23.3%）を17.0%上回りました。業種配分効果では銀行業のオーバーウェイト、情報・通信業や陸運業のアンダーウェイトなどがプラス要因、非鉄金属や証券・商品先物取引業、建設業のアンダーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、めぶきフィナンシャルグループ、いよぎんホールディングス、群馬銀行のオーバーウェイトなどがプラス要因、ジェイテクト、ソラストのオーバーウェイト、フジクラのアンダーウェイトなどがマイナス要因になりました。

損保ジャパン日本債券マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の騰落率（-3.9%）を0.5%上回りました。

金利戦略は主に、2023年8月、10月、2024年5月のショートデュレーション戦略を中心にプラスとなりました。

債券種別戦略は、事業債および円建外債のオーバーウェイトがプラスとなりました。

個別銘柄選択は、劣後債の保有がプラスとなりました。

損保ジャパンTCW外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（37.4%）を1.2%上回りました。

主に、カナダや欧州の個別銘柄選択がプラスに寄与しました。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の騰落率（+16.5%）を0.8%下回りました。

2023年11月の米国のショートデュレーション戦略や2024年1月から2月の米国と欧州のロングデュレーション戦略が、主にマイナス要因となりました。

エマージング株式

ベンチマーク（MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース））の騰落率（+24.4%）を2.7%上回りました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

ハッピーエイジング・ファンド

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第24期 2023.7.19~2024.7.16				
	ハッピーエイジング20	ハッピーエイジング30	ハッピーエイジング40	ハッピーエイジング50	ハッピーエイジング60
当期分配金	—	—	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	23,107	18,687	13,087	7,672	3,584

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

ハッピーエイジング・ファンド

マザーファンドの受益証券等への投資を通して、国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式および債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

S J AMスモールキャップ・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略については、相場環境に応じてデュレーション・カーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。

債券種別戦略については、事業債を中心とした非国債のオーバーウェイトを継続する方針です。

個別銘柄選択については、相対的に利回りの高い劣後債を高位とし、年限は短中期ゾーンを中心とすることで、価格変動性を抑制する方針です。



損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

引き続き、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力している複数のストラテジーの投資比率を適宜調整し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けうるポートフォリオの構築に努めます。



損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

国別配分戦略は、ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、機動的にポジションを変更し、収益機会を増やす方針とします。

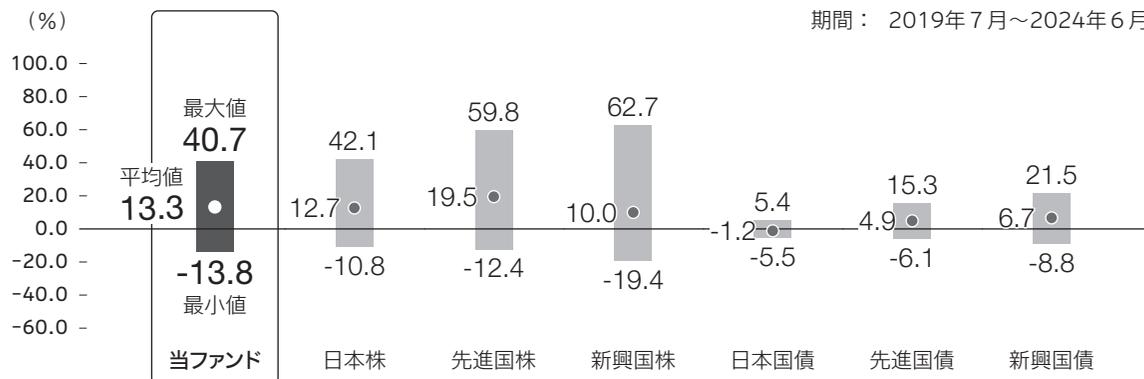
● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	 ハッピーエイジング20/30/40/50/60 「S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド」、 「S J AMスモールキャップ・マザーファンド」、 「損保ジャパン日本債券マザーファンド」、 「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」、 「損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド ^{※1} 」の受益証券およびエマージング株式又はエマージング株式を主要投資対象とする証券投資信託 ^{※2} ※1 運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用指図に関する権限を、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。 ※2 パッシブ運用を行う証券投資信託受益証券を組入れる可能性があります。	
	 S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド わが国の株式	 損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
	 S J AMスモールキャップ・マザーファンド わが国の株式	 損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド 日本を除く世界各国の株式
	 損保ジャパン日本債券マザーファンド 日本の公社債	
運用方法	① 国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式及び債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。 ② 長期的な視点から基準資産配分比率を決定し、当該比率をめどに投資を行います。 ③ 各ファンドの運用は、以下の個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均したものを総合ベンチマークとし、これを上回る運用成果を目指します。 国内株式：東証株価指数（TOPIX） 国内債券：NOMURA-BPI総合指数 外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース） 外国株式：MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース） エマージング株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース） 短期資産：有担コール翌日物	
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

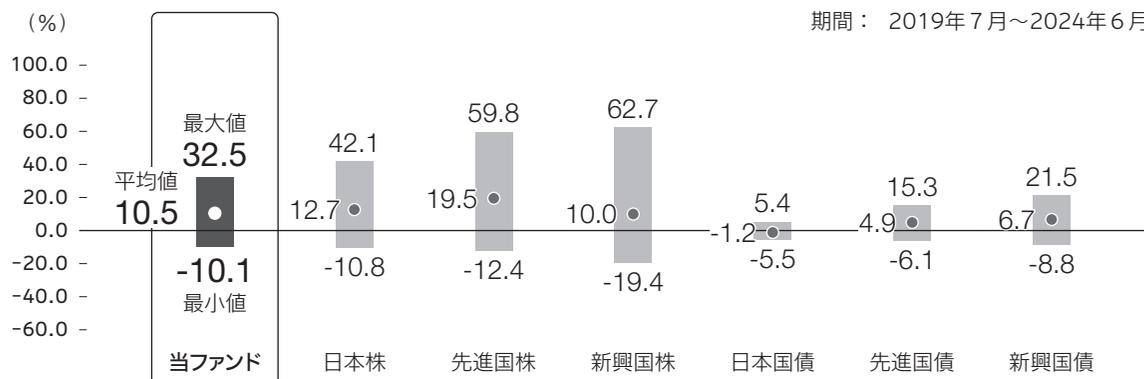
📊 ハッピーエイジング20

期間： 2019年7月～2024年6月



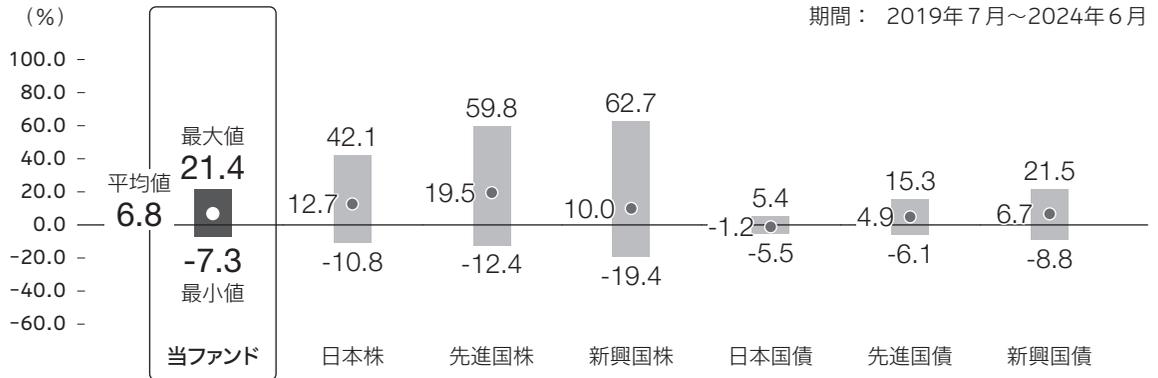
📊 ハッピーエイジング30

期間： 2019年7月～2024年6月

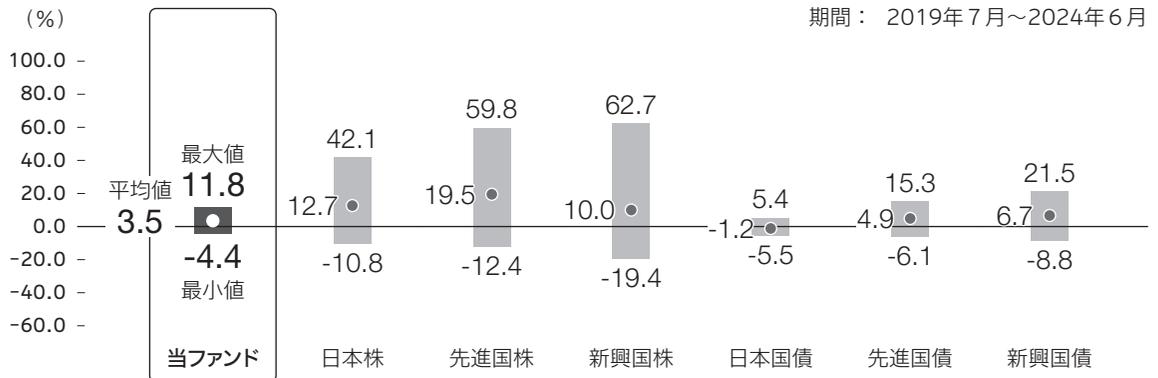


代表的な資産クラスとの騰落率の比較

ハッピーエイジング40

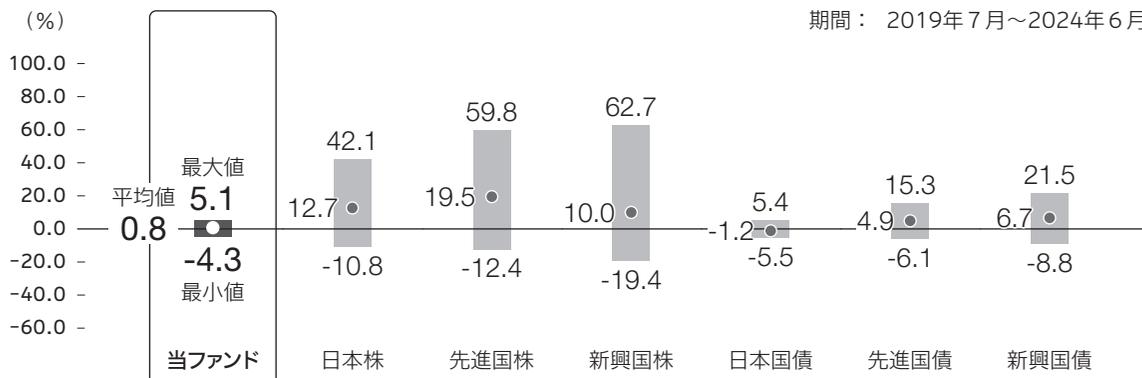


ハッピーエイジング50



📊 ハッピーエイジング60

期間： 2019年7月～2024年6月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は66～67ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

📊 ハッピーエイジング20

● 当該投資信託の組入資産の内容

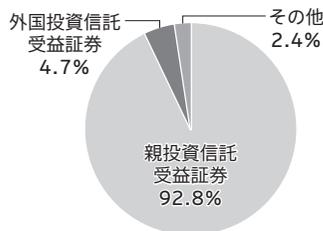
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

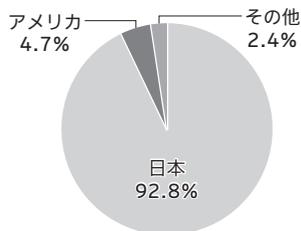
	第24期末 2024.7.16
損保ジャパン T C W外国株式マザーファンド	32.8%
S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド	26.3%
S J A M スモールキャップ・マザーファンド	25.9%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	5.9%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.7%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	2.0%

注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

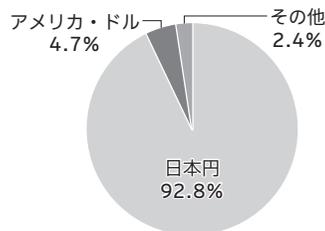
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

当該投資信託の組入資産の内容

● 純資産等

項目	第24期末 2024.7.16
純資産総額	29,019,606,819円
受益権総口数	9,811,741,893口
1万口当たり基準価額	29,576円

※ 当期中における追加設定元本額は2,341,971,835円、同解約元本額は1,416,808,615円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

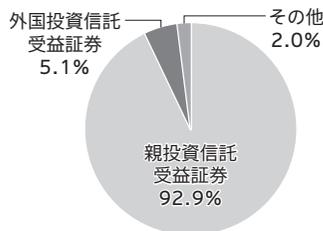
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

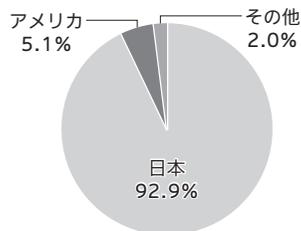
	第24期末 2024.7.16
S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド	22.3%
S J A M スモールキャップ・マザーファンド	22.0%
損保ジャパン T C W 外国株式マザーファンド	20.9%
損保ジャパン 外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	19.7%
損保ジャパン 日本債券マザーファンド	7.9%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	5.1%

注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

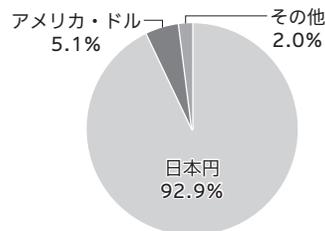
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第24期末 2024.7.16
純資産総額	28,106,573,110円
受益権総口数	10,663,389,153口
1万口当たり基準価額	26,358円

※ 当期中における追加設定元本額は1,642,553,667円、同解約元本額は1,069,429,067円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

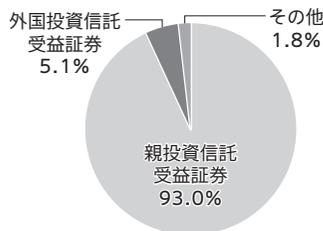
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

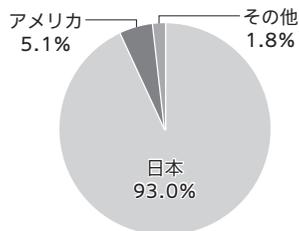
	第24期末 2024.7.16
損保ジャパン日本債券マザーファンド	32.7%
S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド	15.8%
S J A M スモールキャップ・マザーファンド	15.6%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	14.9%
損保ジャパンー T C W 外国株式マザーファンド	14.0%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	5.1%

注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

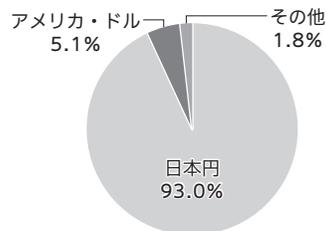
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第24期末 2024.7.16
純資産総額	30,041,750,564円
受益権総口数	13,859,330,422口
1万口当たり基準価額	21,676円

※ 当期中における追加設定元本額は2,071,515,632円、同解約元本額は1,480,139,964円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

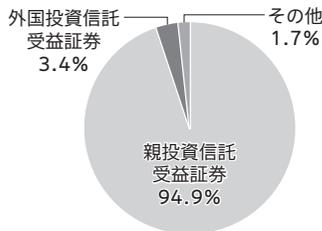
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

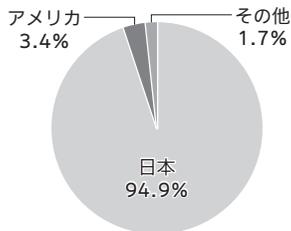
	第24期末 2024.7.16
損保ジャパン日本債券マザーファンド	56.6%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	11.0%
S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド	9.7%
S J A M スモールキャップ・マザーファンド	9.6%
損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド	8.1%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	3.4%

注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

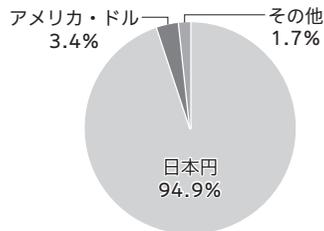
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第24期末 2024.7.16
純資産総額	11,996,103,167円
受益権総口数	6,918,181,950口
1万口当たり基準価額	17,340円

※ 当期中における追加設定元本額は1,247,809,424円、同解約元本額は922,796,363円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

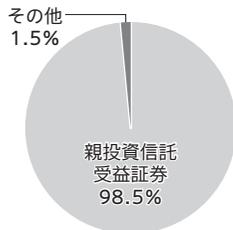
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第24期末 2024.7.16
損保ジャパン日本債券マザーファンド	72.2%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	16.1%
S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド	4.1%
S J A M スモールキャップ・マザーファンド	4.1%
損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファンド	2.0%

注. 比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第24期末 2024.7.16
純資産総額	5,666,857,375円
受益権総口数	4,171,627,877口
1万口当たり基準価額	13,584円

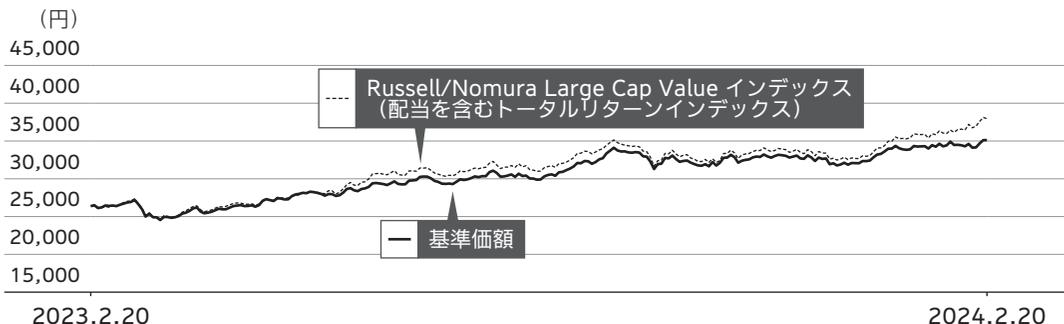
※ 当期中における追加設定元本額は755,947,672円、同解約元本額は654,933,568円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

● S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2023年2月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

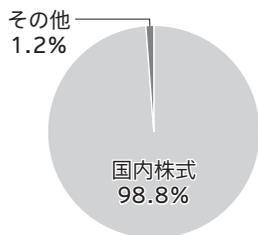
項目	2023.2.21～2024.2.20	
	金額	比率
売買委託手数料	26円	0.085%
(株式)	(26)	(0.085)
その他費用	0	0.001
(その他)	(0)	(0.001)
合計	26	0.086

期中の平均基準価額は30,344円です。

組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	通貨	国(地域)	比率
1	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	6.7%
2	本田技研工業	輸送用機器	日本円	日本	4.4%
3	三菱地所	不動産業	日本円	日本	4.3%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	日本円	日本	4.2%
5	大阪瓦斯	電気・ガス業	日本円	日本	4.1%
6	住友電気工業	非鉄金属	日本円	日本	3.5%
7	マキタ	機械	日本円	日本	3.4%
8	東レ	繊維製品	日本円	日本	3.4%
9	王子ホールディングス	パルプ・紙	日本円	日本	3.2%
10	旭化成	化学	日本円	日本	3.2%
組入銘柄数			42銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

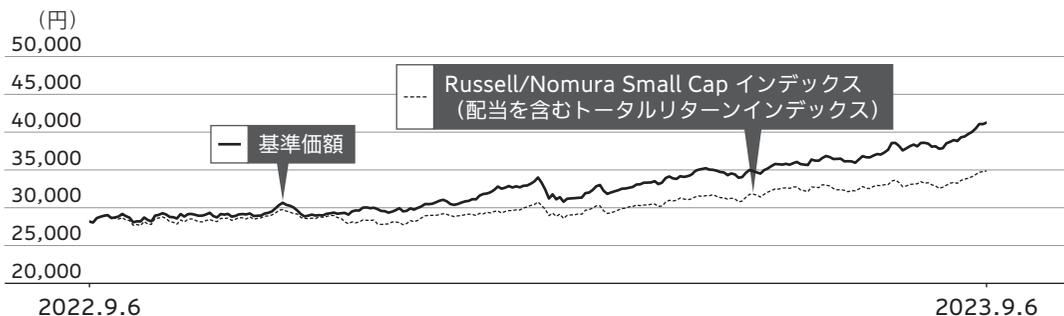
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年2月20日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



S J A Mスモールキャップ・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2022年9月6日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

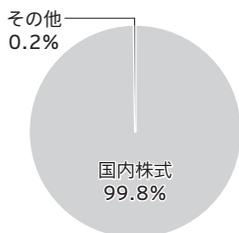
項目	2022.9.7~2023.9.6	
	金額	比率
売買委託手数料	23円	0.070%
(株式)	(23)	(0.070)
その他費用	0	0.001
(その他)	(0)	(0.001)
合計	23	0.071

期中の平均基準価額は33,029円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 めぶきフィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	4.0%
2 ジェイテクト	機械	日本円	日本	3.4%
3 森永乳業	食料品	日本円	日本	3.2%
4 いよぎんホールディングス	銀行業	日本円	日本	3.1%
5 八十二銀行	銀行業	日本円	日本	3.0%
6 E I Z O	電気機器	日本円	日本	2.9%
7 西日本フィナンシャルホールディングス	銀行業	日本円	日本	2.7%
8 日本テレビホールディングス	情報・通信業	日本円	日本	2.7%
9 群馬銀行	銀行業	日本円	日本	2.6%
10 日本ライフライン	卸売業	日本円	日本	2.5%
組入銘柄数		86銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

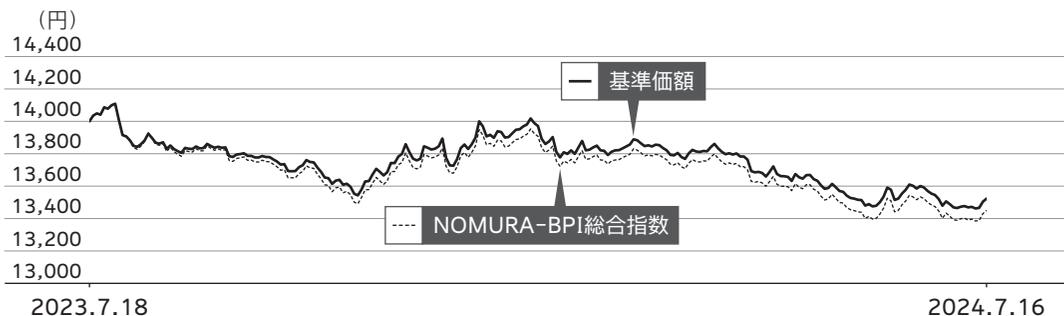
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2023年9月6日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

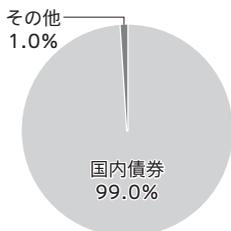
項目	2023.7.19~2024.7.16	
	金額	比率
その他費用	0円	0.001%
(その他)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は13,743円です。

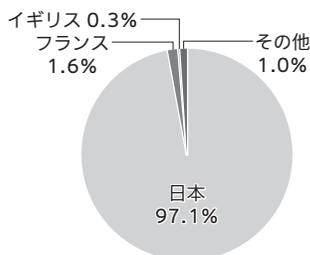
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第459回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	3.3%
2 第373回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.2%
3 第183回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.9%
4 第367回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.9%
5 第371回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.8%
6 第364回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.7%
7 第165回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	2.6%
8 第352回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.6%
9 第358回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.2%
10 第167回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	2.2%
組入銘柄数		119銘柄		

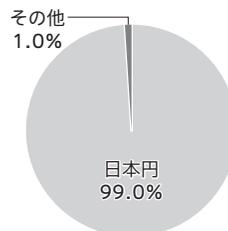
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

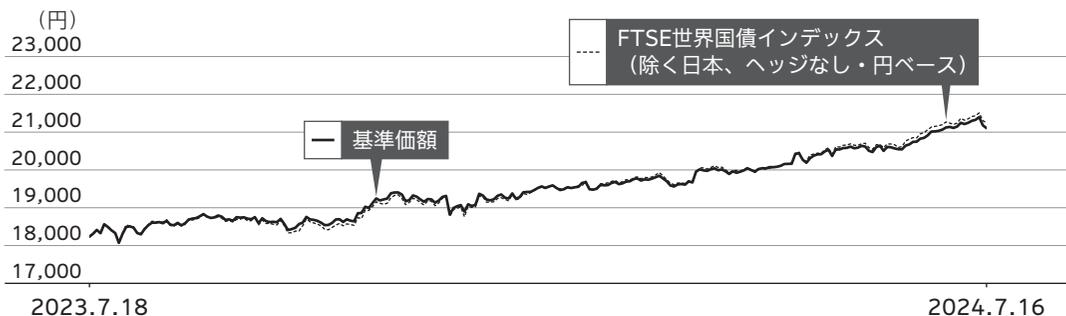
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2024年7月16日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

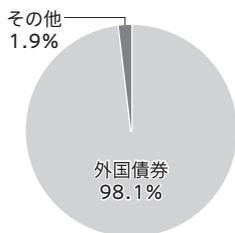
項目	2023.7.19~2024.7.16	
	金額	比率
その他費用	5円	0.025%
(保管費用)	(5)	(0.025)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	5	0.025

期中の平均基準価額は19,517円です。

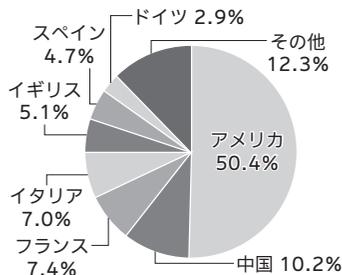
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 Treasury 2.75 280215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	9.3%
2 Treasury 0.75 260331	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	7.0%
3 Treasury 2.125 250515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	6.4%
4 Treasury 4.625 310531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	4.3%
5 Treasury 4.875 260531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.8%
6 Treasury 4.0 340215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.9%
7 FRANCE 0.25 261125	国債証券	ユーロ	フランス	2.5%
8 Treasury 4.5 290531	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%
9 SPAIN 0.5 311031	国債証券	ユーロ	スペイン	2.2%
10 ITALY 2.2 270601	国債証券	ユーロ	イタリア	1.9%
組入銘柄数		152銘柄		

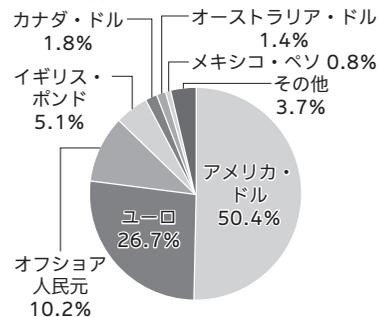
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

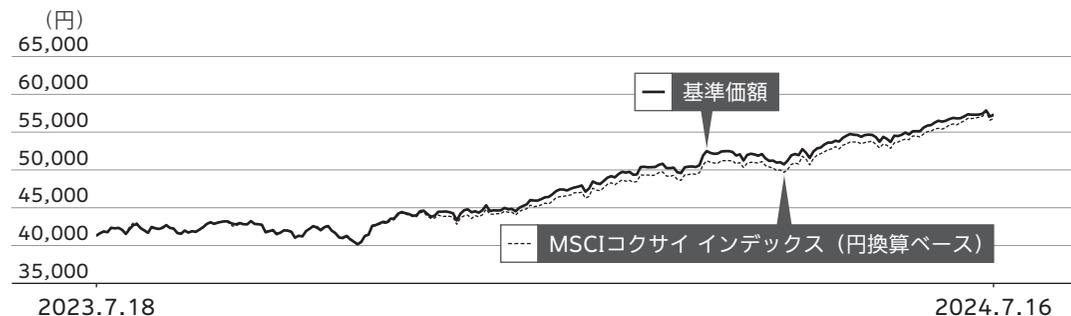
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年7月16日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2023年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

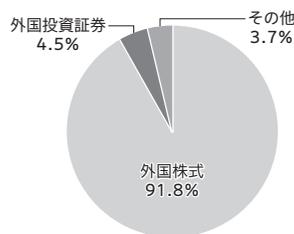
項目	2023.7.19～2024.7.16	
	金額	比率
売買委託手数料	20円	0.043%
（株式）	(18)	(0.037)
（投資信託証券）	(3)	(0.005)
有価証券取引税	3	0.007
（株式）	(3)	(0.007)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	20	0.042
（保管費用）	(19)	(0.040)
（その他）	(1)	(0.001)
合計	43	0.092

期中の平均基準価額は47,557円です。

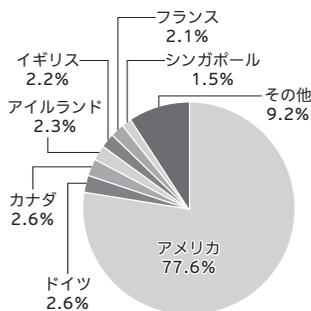
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	4.5%	
2 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ・ドル	アメリカ	3.6%	
3 FISERV INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%	
4 VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.4%	
5 WASTE CONNECTIONS INC	商業・専門サービス	アメリカ・ドル	カナダ	2.2%	
6 HEICO CORP	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
7 TRADE DESK INC/THE -CLASS A	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%	
8 ALPHABET, INC	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	1.8%	
9 S&P GLOBAL INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.8%	
10 LINDE PLC	素材	アメリカ・ドル	アイルランド	1.8%	
組入銘柄数		214銘柄			

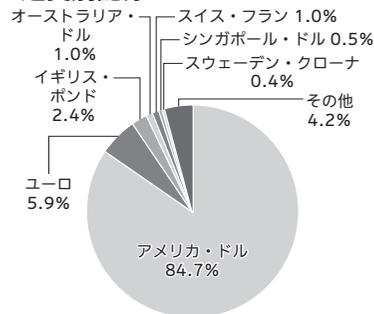
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年7月16日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークについて

個別資産毎のベンチマークを基準資産配分比率で加重平均したもので個別資産毎のベンチマークは次の通りです。国内株式：東証株価指数（TOPIX）、国内債券：NOMURA-BPI総合指数、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、外国株式：MSCIコクサイ インデックス、（円換算ベース）、エマージング株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）、短期資産：有担コール翌日物

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて各ファンドの詳細をご案内しております。

検索

それぞれのファンド名をご入力下さい。

ハッピーエイジング20

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0883/price.html>



ハッピーエイジング30

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0884/price.html>

ハッピーエイジング40

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0885/price.html>

ハッピーエイジング50

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0886/price.html>

ハッピーエイジング60

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0887/price.html>

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。